

令和5年度 県立長岡向陵高等学校 部活動に係る活動方針

1 目標

- (1) 部活動は学校教育の一環として実施する。
- (2) 余暇の善用を図り、心身を鍛え充実した生活を築こうとする自主的な態度を育てる。
- (3) 技術・競技力を向上させるだけでなく、個性の伸長と生涯教育の一環として楽しみながら活動する面の両立を図る。

2 本年度の部活動

- (1) 本年度設置する部活動について

「運動部」野球・サッカー・テニス(男女)・ソフトテニス・バドミントン(男女)・
バスケットボール(男女)・バレーボール(男女)・卓球・陸上競技・弓道
「文化部」演劇・吹奏楽・合唱・英語・美術・総合文化(書道・園芸・茶道)

- (2) 活動時間及び日数について

- ① 活動時間について

- ・学期中 平日2時間程度 週休日等 3時間程度(練習試合や大会等を除く)
- ・長期休業中 平日・週休日等 3時間程度(練習試合や大会等を除く)

- ② 休養日について

- ・平日1日以上、週休日等1日以上の週2日を原則とするが、大会等がある場合で計画を変更する場合は校長の許可を受ける。
- ・年間100日以上、うち週休日等に50日以上の休養日を設ける。
※「R5部活動年間活動計画」による。

- ③ その他

- ・定期考査1週間前(土日含む)は部活動を行わない。大会等がある場合は校長に相談する。
- ・年末年始等の学校閉庁日は部活動を行わない。大会等がある場合は校長に相談する。
- ・平日の休養日の変更はその週の中で補うことを原則とし、週休日の休養日の変更はその月を含め、3か月以内に補う。
- ・グラウンド等が使えない12月以降、活動場所を配置する都合上、休養日の設定の変更を行う。

- (3) 大会参加について

部活動として参加する大会は、以下に該当するものとする。

- ① 高体連・高野連・高文連主催、共催、後援の大会とする。
- ② その他の大会については、校長が許可した場合のみ参加を認める(ただし、生徒の健康面、学習面には十分配慮する)。

3 部活動運営について

- (1) 体罰等の禁止について

部活動顧問等の指導者は、いかなる理由があっても、部活動での指導で体罰等を正当化することは誤りであり、決して許されないものであるとの認識をもち、体罰等のない指導に徹する。体罰等には、暴力的な言動、スクールセクシャルハラスメント等の不適切な指導を含む。

- (2) 保護者等の理解と協力について

保護者の理解と協力は、部活動の運営上欠かすことができない大切なことであることから、顧問としての指導に関する基本方針・練習計画・練習内容・活動時間・休養日等を明確にし、保護者等に示す。また、活動費等を徴収した場合は保護者に対し会計報告を行う。